国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ
Tokyo Tobihino Rotary Club

会長 結城 祐純

幹事 谷　和彦

会長テーマ　クラブを再加速する

2023-24 Weekly Report vol.36-42

世界に希望を生み出そう

2024年5月19日（日） 第1677回 ロータリー奉仕デー フードドライブ事業 於:イオンモール多摩平の森

■会長報告

東京日野ロータリークラブと東京飛火野ロータリークラブは地元イオンモール多摩平の森広場を会場に合同での「ロータリー奉仕デー・フードドライブ事業」を行いました。フードドライブの趣旨は、自宅にある未使用の食品を持ち寄り、食品を必要とする福祉施設や生活困窮者などに寄付する活動であり、社会的にも注目されています。この事業は両クラブの多くの会員が高い関心をもって食品寄付に取り組んでおり、準備として新聞の折り込みチラシ、ポスター作りに力を入れると共に、市内の多くの団体、市民に周知を計り今年で3回目の「ロータリー奉仕デー」となりました。当日は地元商店会から借用したテントを設営し、両クラブの会員が力を合わせて市民への呼びかけをいたしました。10時の開始から多くの食品の寄付があり受付終了の15時までに軽トラック2台分、総重量341kg分もの食品が集まりました。これらの食品は、社会福祉法人日野市社会福祉協議会とＮＰＯ法人フードバンクＴＡＭＡを通じて必要とする方々の元へと届けられました。次年度以降も更なる奉仕事業の輪が広がるよう継続して参ります。

—— 今後の課題 ——

フードドライブ事業は、マスコミやいろいろのメディアが取り上げていますが、食品ロスは年々増加し廃棄されるものの多く、この事業にとっては看過できない状況です。日常的に事業の内容を多くの方に知らせていくことが最も必要ではないかと思われます。

●フードドライブのメリット・デメリット（HP）

★メリット

日本は相対的貧困率が高い国のひとつである。フードドライブの取り組みによって、必要な人に食べ物を届けることで、貧困問題解消の一歩につながる。また、家庭からの食材を募るというフードドライブの特性上、地域の関係性作りや分け合う心、共助・公助の心を育むことができる。さらに、日本の大きな問題である食品ロスへの関心を高め、家庭からの食品ロスや廃棄削減の啓蒙につながる。結果、食品ロスや廃棄の処理における莫大な CO2排出や費用を削減する効果も期待できる。

★デメリット

誰もが気軽に参加できるフードドライブにはデメリットも考えられる。個人からの寄付なので安全性に不安があったり、多品種少量の食品が集まるので均等な分配が難しかったりすることだ。スナック菓子など、栄養バランスの低い食品が集まる場合もある。

フードドライブ実施側の対策としては、必要食品をある程度、限定して呼びかけるのも一つの解決策だ。フードドライブに寄付するひとりひとりの意識改革も必要だろう。ただ不要なものを回収するという位置付けではなく、支援先の人に思いやりをもち、安全で適切な食べ物を届ける意識をフードドライブに持つべきだ。

先述のとおり、フードドライブは誰もが気軽に参加できる取り組みである。自分の生活を見直すと、必要な人に支援を届ける術はたくさんあるはずだ。フード

ドライブの取り組みがひろがることで、貧困問題と環境問題の両方を一歩ずつ解決する未来を期待したい。

★日本におけるフードバンクの 取り組みと課題　静岡大学人文社会科学部　教授　日詰 一幸

日本のフードバンクは、誕生以来いまだ 20年に満たないが，食品ロスの削減だけで はなく、地域福祉の重要な担い手として認 識されるようになった。今後も、社会が要 請する2つの課題解決（食品ロス削減と生 活困窮者支援）への期待に、十分応えるこ とができるように組織力を強化していくこ とが求められている。それと同時に、食品 関係事業者から提供された食品を、常に安 全性を保ちながら提供するという取り組み を行っていくことが重要である。そのためにも、フードバンク間相互の連携・協力の関係を構築することが求められるだけでなく、地域社会における信頼を確保する活動 を展開することが必要とされると言えよう。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1677回	26	19	1	-	6	76.9
第1675回	24	22	1	0	1	95.8

ニコニコBOX　本日 2,285円　累計 756,006円
本年度目標額1,200,000円　達成率63.0%

※今週のメークアップ　水野さん
※先々週の後メークアップ　なし

事務局：東京都日野市神明4-22-13スペースブロンコ1F 〒191-0016 TEL 042-583-6434　FAX 042-583-6435　例会場：飛火野RC事務局
会　長:結城 祐純　　幹　事:谷　和彦　　副会長:仙波 秀夫　　クラブ広報委員会委員長:藤野 益夫

企画制作（株）アド・スクリーンサービス ☎042-586-1378